

第4章 地域別構想（地域別まちづくり方針）案

①地域区分の考え方

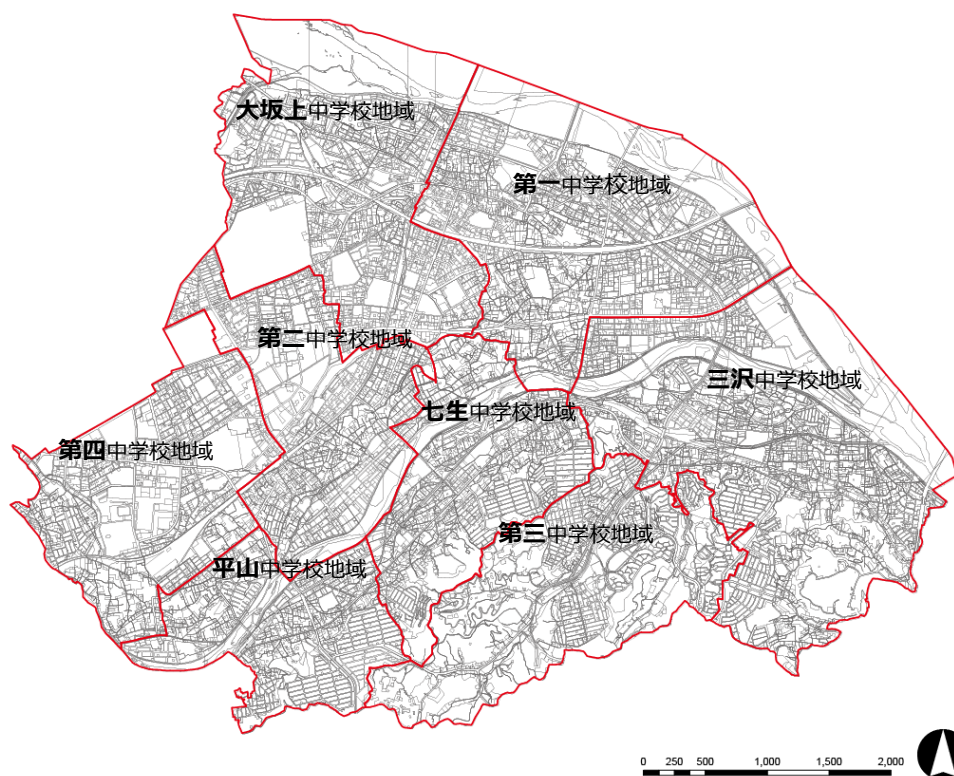
本市は、浅川や多摩川、多摩丘陵など地形の変化に富み、住環境も、大規模に造成された住宅地や古くからの集落、農地が多く残る住宅地など、様々な特性を有しており、まちづくりの課題も地域によって異なります。

今後、地域主体のまちづくりを促進していくためには、それぞれの地域の環境やコミュニティの特性に応じた対応が必要です。そのため、地域別構想は本市を8つの中学校区に分けて整理しています。

②位置づけと役割

地域別構想は、各地域にお住まいの方々にとって、まちづくり活動や建物の更新に際しての前提となる、まちづくりの基本方針であり、行政においては個別の事業の実施に際しての指針となるものです。

今後は、この地域別構想をふまえて地域のまちづくりを推進していきます。



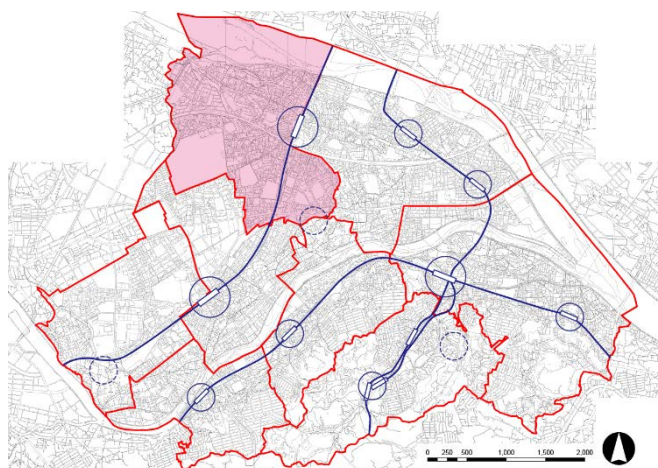
4-1. 地域別構想（地域別まちづくり方針）

大坂上中学校地域 日野の玄関のあるまち

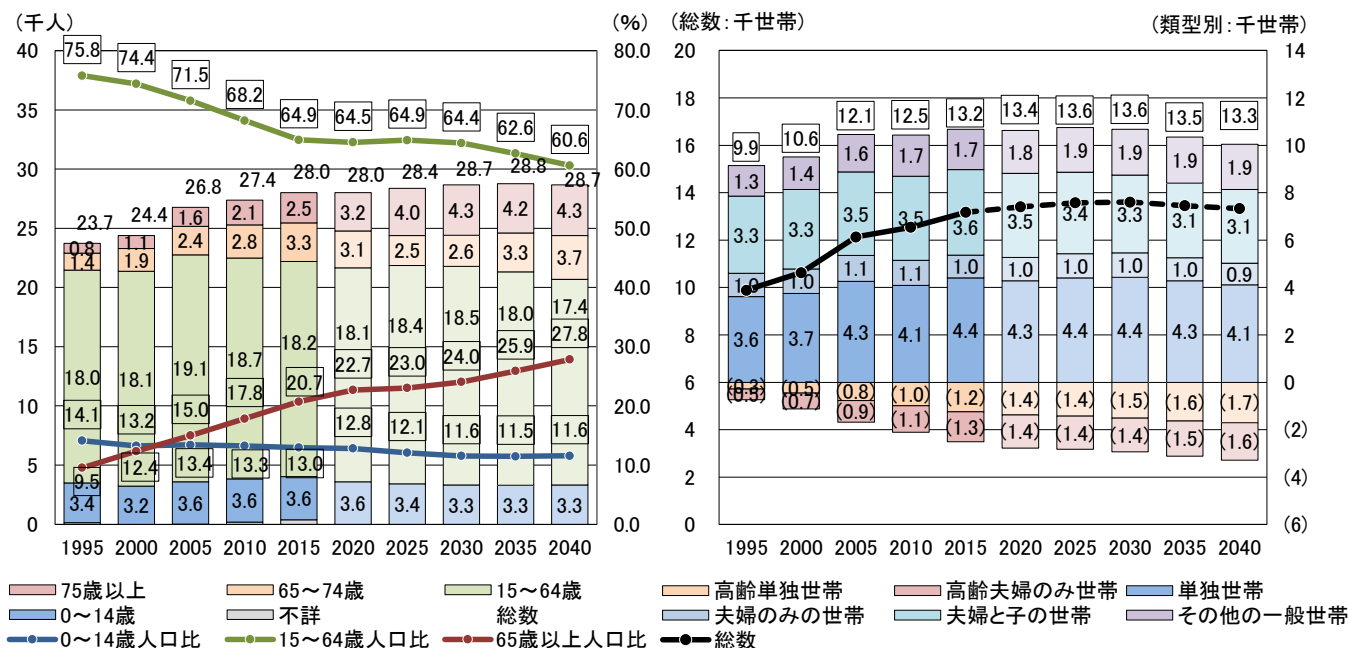
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【大坂上中学校の区域】

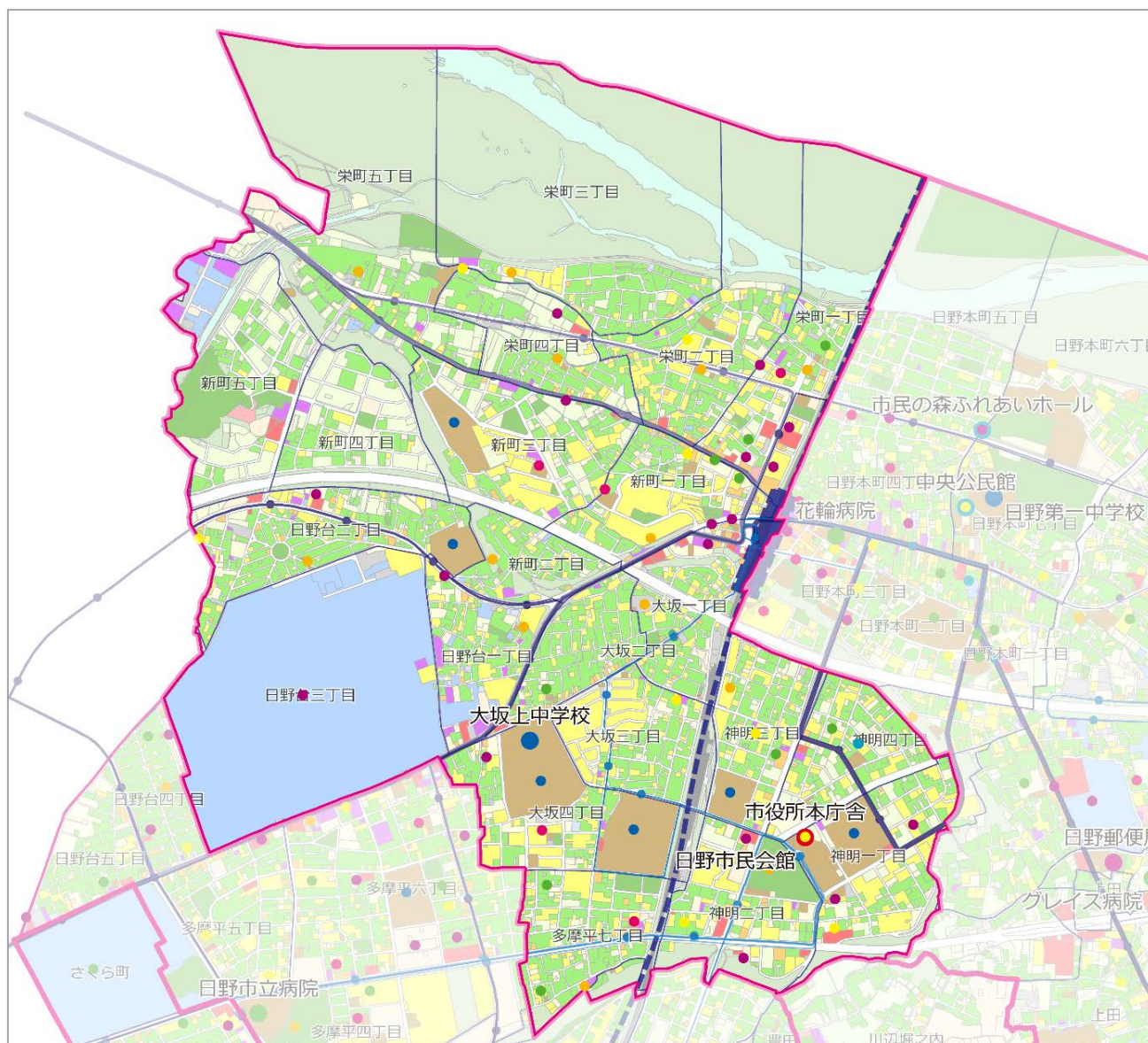
- ・多摩川が北を流れ、緑豊かな崖線や農地、用水路があり、自然を身近に感じられる地区ですが、宅地化が進み、農地は減少しています。
- ・日野駅は日野の玄関口としての役割を担っていますが、駅周辺の賑わいに乏しく、住民が気軽に集える空間もあまりありません。
- ・日野駅周辺には共同住宅などが少しずつ立地し、人口が増えていますが、医療施設や保育園など生活を支える施設が不足しています。
- ・日野自動車の工場は、2020年までに工場機能の移転が予定されており、地域の活力を維持できる跡地の活用方法を検討する必要があります。
- ・日野台・新町地区には、狭隘道路や老朽住宅が比較的多い住宅地や、住宅と工場が混在する市街地がみられます。
- ・神明・大坂上地区は、市役所や中央公園、実践女子大学など、多くの人が集まる施設が集積しています。
- ・成就院や七つ塚等の史跡が残されています。



大坂上中学校地域の人口・世帯数の現況と推計



【大坂上中学校地域の現況図】



凡例：交通		ミニバスルート		凡例：施設利用	
鉄道	路線バスルート	75本(片道)/日以上	20本(片道)/日以上	行政施設	教育施設
		30本(片道)/日以上	20本(片道)/日未満	文化・スポーツ施設	子育て施設
		30本(片道)/日未満	ミニバス停	コミュニティ施設	福祉施設
		路線バスバス停			
凡例：土地利用種別					
官公庁施設	供給処理施設	独立住宅	屋外利用地・仮設建物	田	
教育文化施設	事務所建築物	集合住宅	その他	畑	
厚生医療施設	専用商業施設	専用工場	道路	樹園地	
宿泊・遊興施設	住商併用建物	住居併用工場	公園・運動場等	水面・河川・水路	
		倉庫運輸関係施設	鉄道・港湾等	原野	
		農林漁業施設	未利用地等	森林	

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

大坂上中学校地域

暮らし方の目標1：身近な自然を楽しみ、親しめる暮らし

・東光寺周辺では、林や崖線の緑など豊かな緑を見渡すことができます。また、よそう森堀のように自然のままの用水路が残されており、そこにはさまざまな動植物が生息しています。

→田園住居地域の指定など新たな制度の活用や、緑地の公有地化の検討、まちなかの樹木の保全や住宅地の生け垣化などを進めることによって、恵まれた自然を日頃の生活の中で身近に感じることもできるような暮らしを目指します。

ページ左側の「方針・プロジェクト」に」反映した部分を で示しています（以下、同じ）

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
東光寺の林の広がりや日野駅から見える崖線の緑、タヌキやオオタカがやってくる自然を守っていこう	【緑の保全と緑のネットワーク化】 ・登録樹林・樹木制度を活用した崖線緑地や湧水・まちなかの樹木の保全、緑の公有地化の検討 ・田園住居地域の指定等による緑地の保全（樹林地の税制優遇措置、樹林地と宅地の交換制度、住宅建設の規制など） ・幹線道路の緑化の推進、助成制度を活用した住宅地での生け垣化の推進 ・地域住民による緑地の管理や、緑地トラストの活用	○自然・樹木・緑の保全		・今後の住宅の増加に対し、緑や農地の保全、農地と宅地との共存を目指す。
カワセミやホタルがやってくる用水路を取り戻し、多摩川を楽しみ、親しめる水辺環境をつくりあげよう	【多摩川に親しむ】 ・公園・用水・多摩川を回遊できるウォーキングルートの整備（雑木林の小径、ベンチや木陰の整備等）と活用方策の検討 【用水路の活用】 ・用水の開渠化や日野緑地を生かした景観づくり ・住民による清掃活動や環境に関する勉強会や観察会の開催	○川・湧水の活用（清流のまち、日野らしさのアピール） ○多摩川にベンチ等の休む場所を増やす ○安全で快適なウォーキングルート＋途中で休憩できる場所 ○回遊できる遊歩道の整備	○用水の美化 ○用水を綺麗に整備し、ゆっくり回遊できるように（東光寺公園の南側を多摩川へと上がり易く）	
生き物が暮らせるような自然を活かした公園をつくろう	【自然を活かした公園づくり】 ・自然や地形を活かした住民参加による公園の整備とリニューアル ・東光寺グラウンドの再整備や、田んぼを取り入れたよそう森公園の活用 ・企業所有のグラウンドなど大規模敷地を活用した交流の拠点の整備			

暮らし方の目標2：いつでも先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らし

・地域には、成就院や七つ塚などの史跡が残されています。

→これらの史跡や伝統・風習を次世代に引き継いでいくことによって、先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
史跡巡りや祭りなどのイベントを通して、地域への愛着を育ていこう	【地域を学ぼう】 ・地域の風習を知るための講座の開設 ・地域住民による雑木林の下草刈りや自宅前の清掃活動の促進や、小中学校の授業の一環として地域清掃の実施			

暮らし方の目標3：近所の人たちと立ち話ができるような住環境の整った暮らし

・地域には、緑豊かな街並みの整った住宅地がある一方で、狭隘道路の多い住宅地や、土砂災害や風水害への対応が必要な住宅地があります。

→地域住民によって、街並みを保全するためのルールづくりや災害時の対応等について連携し、安全で住みやすい住環境の整った暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
いつまでも安心して住み続けられる良好な住環境をつくりあげよう	【街並みや眺望の保全】 ・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールづくりや、整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など）	○狭い道路空間をうまく利用した、きれいな街並みと歩きやすいみちづくりや広場づくり ○訪問ヘルパーが一時駐車できる仕組み作り		・土砂災害や風水害への対応が必要な地域があることに留意する。

	<ul style="list-style-type: none">・眺望点の案内板の設置 【安全・安心・快適なまちづくり】 <ul style="list-style-type: none">・住み続けられるまちをめざした基盤整備の推進・狭隘道路の拡幅整備の促進や広場の整備・浸水想定区域である低地と台地部の防災組織等の連携、地域住民による避難ルートの検討等	<ul style="list-style-type: none">○浸水時を想定した避難シミュレーション等を踏まえた避難ルートの検討○危険なブロック塀の点検（特に小中学校の通学路）、市民からの情報提供○災害時等の自治会の枠を超えた住民組織等の検討	
--	---	--	--

暮らし方の目標 4：誰もが安心して歩いて、暮らしを支える施設に気軽に行ける暮らし

・地域には、道路が狭い地区や公共交通の利用が不便なエリアがあります。
→**高齢者の居場所や、誰もがスムーズに移動できるような公共交通手段を充実し整備することによって、高齢者にとつていつまでも便利で住み続けたいと思える暮らしを目指します。**

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
誰もが安心して歩くことのできる新しい道と、市役所や病院など、暮らしを支える施設に気軽に行ける公共交通システムを整備しよう	【安全・安心な道づくり】 <ul style="list-style-type: none">・都市計画道路日 3・4・17 号線（第四次事業化計画における優先整備路線）の整備促進・幹線道路のバリアフリー化や緑化の推進・交通量の変化にあわせた生活道路の交通規制（都道 169 号線（滝山街道）など） 【公共交通の充実】 <ul style="list-style-type: none">・路線バス・ミニバスの再編・拡充の検討・乗り合いタクシー等のデマンド型交通の導入検討・高齢者等の移動介助サービス等の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none">○高台の道路、バス停にベンチなどの設置○バスの便数の増強○実践女子大周り等のバス停の再編やバス停の増強○スーパーから住まいの周辺まで運んでくれる乗り合いタクシー等の新たなデマンド型交通機関の導入。○ミニバスの乗降時のバスボランティアの促進○福祉に関する移送サービスの担い手づくり（地域のリタイア層による有償ボランティア等）○お年寄りも渡りやすい押しボタン信号の設置○狭い道路が集積する地域で、地権者の協力による、空き地、遊休地、駐車場などを活用しスペースを捻出できるルール（協定）の検討。		

暮らし方の目標 5：自然に人が集まってくる場所のある暮らし

・地域には、多くの子供たちや市民が集まる、中央公園や市役所、大学などがあります。
→多くの人の集まる場所や既存の施設を、ふれあいや交流のある場として充実するとともに、学校の余裕教室などがあれば活用し、いつも身近に人々が集うような場所のある暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
市役所や学校、公園などを活用して、いろいろな年齢層や職業の人たちや子どもたちとふれあえる場をつくろう	【気軽にくつろげる居場所づくり】 <ul style="list-style-type: none">・高齢者の憩いの場・交流の場の充実・ふれあいサロン等の PR・活用促進・空き家を活用した居場所づくり 【多世代の交流のあるまち】 <ul style="list-style-type: none">・多くの人が集まる市役所や中央公園、地区センターなどの公共施設を交流の拠点として活用・学校の空き教室・余裕教室を活用した交流拠点づくり・企業や実践女子大学と連携したまちづくりの推進・公営住宅の再整備に伴う、地域の交流の場の整備・利用しやすい公共のトイレの整備	<ul style="list-style-type: none">○高齢者の居場所づくり（神明周辺）○コインランドリーを利用したお年寄りの憩いの場・交流の場、サロン（ランドリーカフェ）○カフェなどの居場所（新町 4 丁目）○高齢者だけでなく、子育て世代や若い世代が将来まで使い続けられるような居場所。○多世代が交流できる場づくり（公共施設の活用）○公園や地域の小学校など、住民にとって身近な場所に誰もが参加しやすい居場所をつくる。○学校など子どものいる場所に、高齢者の集まる場を併設○児童館を、児童+高齢者の居場所に○公共施設内にカフェ併設、話をして良いエリアをつくる○市役所周辺など人が集まる場所にカフェなど（空き家活用、民間施設を誘致）○サロン「ひなたばっこ」のような交流の場の PR・活用促進	<ul style="list-style-type: none">○中学生が地域と触れ合える場所○生きがいとなる活動ができる場所○頭と体を動かして介護予防ができる場所○民間で高齢者が集まれるような施設○自治会活動など地域のコミュニティを維持	＜神明、大坂上、多摩平＞ <ul style="list-style-type: none">・利便性の高い立地条件をふまえ、行政・実践女子大学・商工会議所で連携し、高齢者が暮らしやすい地域づくりや、子育て世代の転入促進を進める。

暮らし方の目標6：いつでも人にふれあえる、出会いと交流のある暮らし

・日野駅は、交流施設を利用する市民や、日野を訪れる人々の「日野の玄関口」です。
→玄関口にふさわしい景観づくりや駅舎の改良、歩いて買い物ができる駅周辺の整備によって、様々な出会いと交流があり、いつでも人にふれあえる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
日野駅を「日野の玄関」として育て、 駅周辺をにぎわいとやすらぎのある場にしよう	【駅の改良】 ・駅舎の歴史や特徴を活かした駅改良 ・東西をつなぐ自由通路のリニューアル整備 ・市民と鉄道事業者による駅前づくり		○日野駅に行きづらいので南口を	
	【西口駅前広場の有効活用】 ・駅舎の高架化による駅前広場の一体的利用（駐車・駐輪場、イベント広場、フリースペースの確保）、リニューアル整備 ・イベント広場としての整備とイベントの開催（朝市・フリーマーケット・楽器演奏・昔話）			
	【駅前の商業地の整備】 ・甲州街道沿道の歩行者空間や休憩スポットの整備 ・小売店の特徴づくり（地元野菜販売等、地場産業を生かした商店づくり）（若い世代にとって魅力ある小売店づくり） ・若者による店舗経営や、起業のためのスペース提供等の支援 ・無線 LAN 環境の充実	○ベンチやイス、休憩所を増やす（栄町周辺、駅前） ○日野駅を利用しやすく、駅ビル等買い物の便利な駅に	○駅前に気軽に寄れる喫茶店やファストフード店	
	【交流拠点づくり】 ・市役所の窓口機能や図書館の分室サービス機能の設置 ・市民が自由に活動できる多目的施設の整備 ・駅周辺の子育て支援や福祉サービス施設や機能の充実	○駅周辺に行政サービスの支所を作る ○駅周辺など地域のつながりが希薄になりつつある場所に、住民同士で触れ合える場所をつくる ○日野駅周辺整備による新たな居場所の創出。		
	【駅前の景観づくり】 ・看板類の規制・誘導 ・多摩川までの緑豊かな散歩道の整備			
駅へのアクセスについてのルールをつくり、 誰にとっても利用しやすい駅にしよう	【利用しやすい駅周辺づくり】 ・駅へアクセスする歩行者専用道路や歩道の拡幅整備 ・車椅子の利用や、歩いて買い物がしやすい歩道の整備 ・駅前レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討 ・駅周辺における効率的な駐車場配置・交通システムの検討			

暮らし方の目標7：日野の新たな産業と地域の共存できる暮らし

・地域には、日野の産業を支えてきた日野自動車の大規模工場がありますが、移転が予定されています。
→工場移転後も、地域と共存する施設等の立地誘導を進め、産業と地域が共存できる暮らしを目指します。

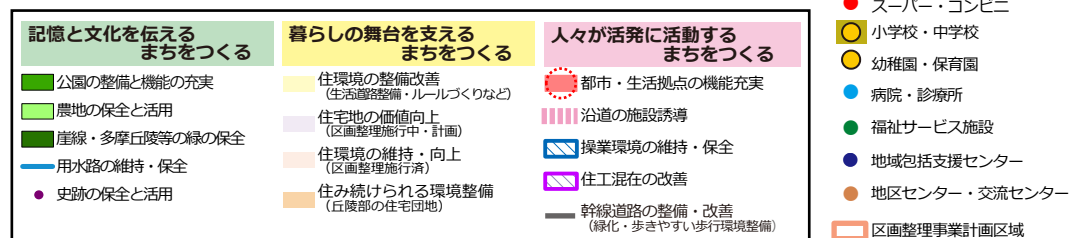
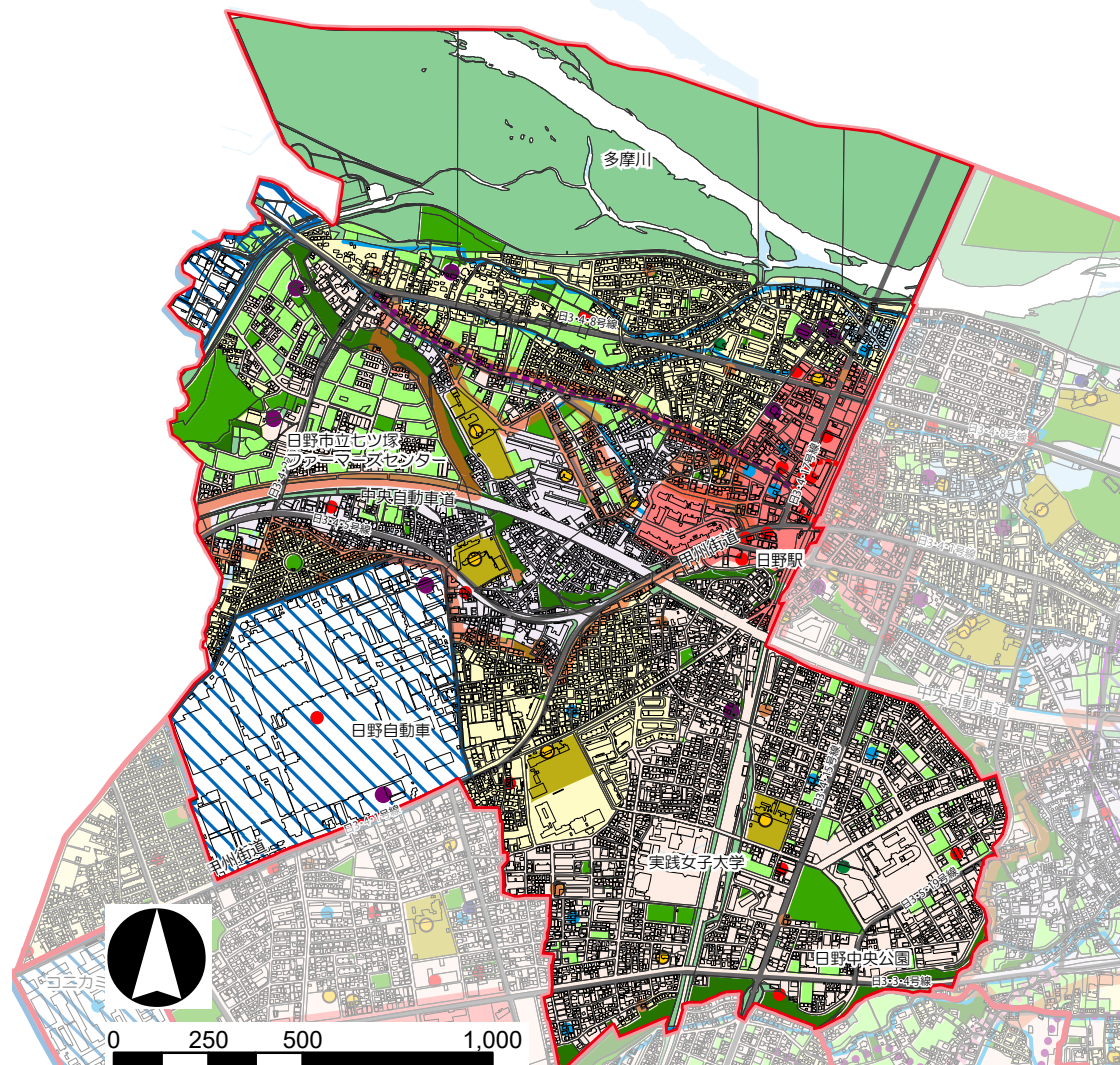
■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
日野の産業を支えてきた 日野自動車などの工場と、これからも共に歩んでいける まちづくりを進めていこう	【地域の活力維持】 ・日野自動車工場の移転跡地利用とまちづくりの連携 ・施設や緑地の地域への開放 ・企業見学の機会づくり	○スーパーや商業機能の整備による買い物不便 地域の解消 ○市民の憩いの場にもなる銭湯 ○日野自動車の跡地は商業施設や人が集まれる施設を（買い物ができる場所、市民が集まれる場所や、温泉施設など、高齢者等がくつろげる場所） ○人が集まるような複合施設	○日野自動車の後継施設も、働く場であってほしい。	

暮らし方の目標8：農業者の誇りと自然の恵みをみんなが感じ、農地・用水をみんなで守り育てる暮らし

・地域には、まとまった農地があり、農業を生業とされている方々がいます。
→身近に農地のある恵まれた環境をいつまでも維持できるように、営農環境の充実や、農地を身近に感じられる場を充実することによって、誰もが生活の中で農地や用水を守り育てる意識を持てる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
<p>食べるものが目に見えるところでつくられている 安心感と、農の生業を体験できる環境を守っていこう</p>	<p>【農業環境の充実化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農の拠点（ファーマーズセンター）の活用、直売所の充実 ・農地の生産緑地化（水田の積極的保全） ・休耕田の借り上げによる市民農園の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・ファーマーズセンターへのアクセス向上 	
<p>地域で農業を支える仕組みを考えていこう</p>	<p>【農業の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物を市内の飲食店で利用できる仕組みづくり ・駅周辺での朝市の開催 ・地域住民による都市農業についての話合いの場の創出 			

大坂上中学校地域 まちづくり方針図

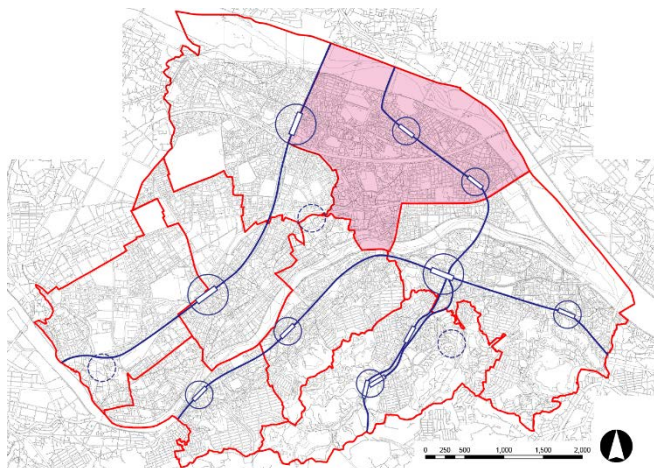


第一中学校地域 かつての日野人の心が息づくまち

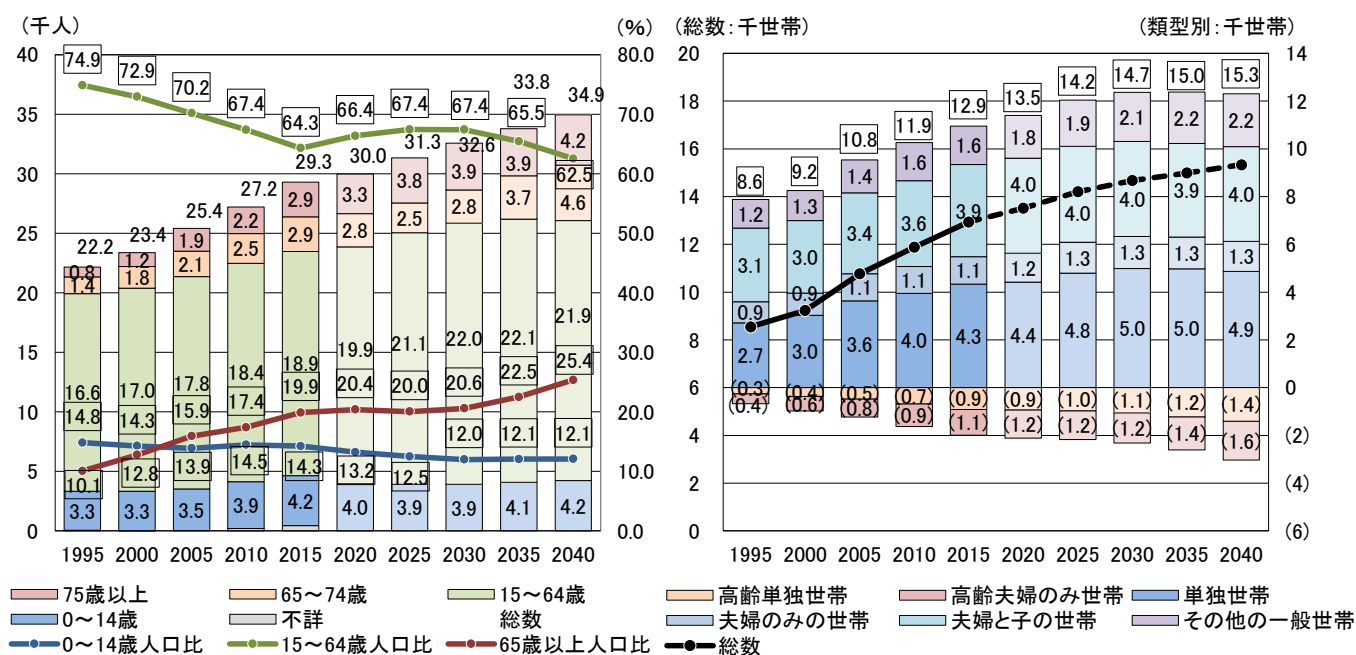
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【第一中学校の区域】

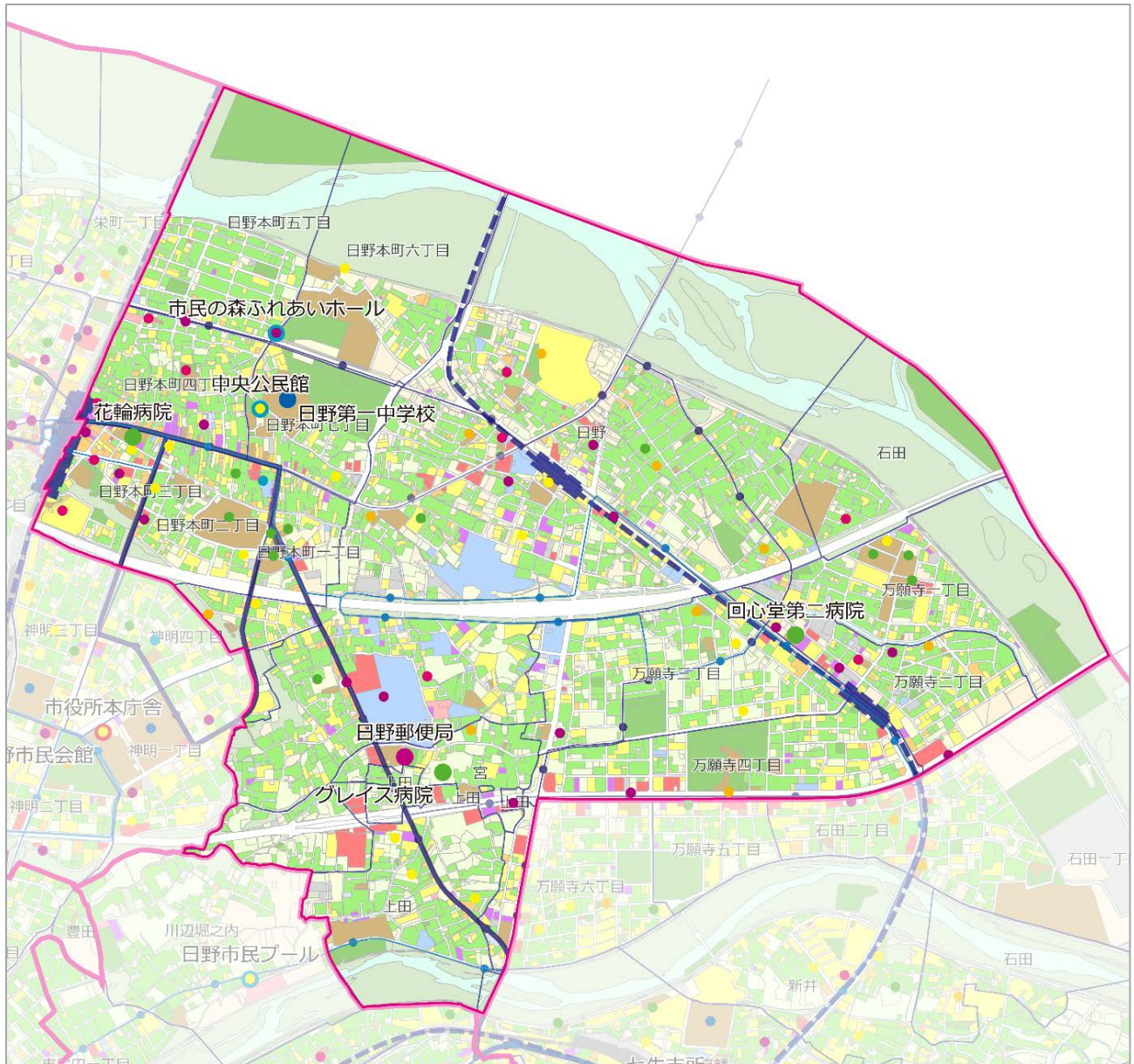
- ・地域には多摩川が北を流れ、市民の森ふれあいホール、市民の森スポーツ公園、仲田公園など多くの人が集まる場所や緑豊かな環境があります。
- ・日野駅前の甲州街道沿道には日野宿本陣などがあり、歴史・観光の事業をふまえたまちづくりが実施されています。
- ・上田や宮、万願寺3, 4丁目には都市農地と住宅が共存するエリアがあります
- ・日野駅は市民の交流施設や歴史・観光施設へ人々を導く、日野の玄関口としての役割を担っています。
- ・モノレール甲州街道駅、万願寺駅の周辺では区画整理により基盤整備が進められ、駅周辺には福祉施設や商業施設の立地がみられ、地域の生活拠点となっています。
- ・大字日野では区画整理事業が予定されていますが、未だ着手されていない地区もあり、また、工業系の土地利用も多く、住工が調和するまちづくりが進められています。
- ・万願寺地区はモノレールや鉄道により利便性が高く、万願寺中央公園等の大規模公園が近く良好な住環境が整備されているため、人口は増加傾向にあります。
- ・地域内には3つの病院や特養、優良老人ホームなど医療・福祉系の施設が比較的多く立地しています。



【第一中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



【第一中学校地域の現況図】



凡例：交通		凡例：施設利用	
鉄道	路線バスルート	● 行政施設	● 教育施設
	75本(片道)/日以上		
	30本(片道)/日以上		
	30本(片道)/日未満		
路線バスバス停	ミニバスルート	● 文化・スポーツ施設	● 子育て施設
	20本(片道)/日以上	● コミュニティ施設	● 福祉施設
	20本(片道)/日未満		
	ミニバス停		
凡例：土地利用種別			
官公庁施設	供給処理施設	独立住宅	屋外利用地・仮設建物
教育文化施設	事務所建築物	集合住宅	その他
厚生医療施設	専用商業施設	専用工場	道路
宿泊・遊興施設	住商併用建物	住居併用工場	公園・運動場等
		倉庫運輸関係施設	鉄道・港湾等
		農林漁業施設	未利用地等
			田
			畑
			樹園地
			水面・河川・水路
			原野
			森林

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

第一中学校地域

暮らし方の目標 1：いつまでも多くの生き物とともに暮らしていけるように身近な自然を大切に育てていく暮らし

・当地域には、仲田の森蚕糸公園や崖線の緑など、季節の移り変わりが感じられる自然があります。また、多摩川や湧水・用水など、水辺の環境にも恵まれています。

→緑地の公有化の検討や緑地保全のための新制度の活用などによって、自然を守るだけでなく、自然を体験し、楽しむことのできる環境を整備し、自然に棲む生き物と共生できるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
身近に季節の移ろいが感じられる仲田公園や崖線の緑を保全し、活用していこう	【緑の保全】 <ul style="list-style-type: none">・緑地の公有地化と湧水の保全・緑地保全のための基金やトラストの活用・果樹園や農地の保全に配慮した宅地開発の誘導・民間事業者による緑地の保全・整備・活用方策の検討や、管理のための組織や仕組みづくり			<万願寺> <ul style="list-style-type: none">・果樹園や農地の保全に配慮した宅地開発を進める。・湧水の保全、崖線の保全
	【自然体験の場づくり】 <ul style="list-style-type: none">・自然の大切さを学び体験できる、地域住民の手づくりによる公園づくり・地域住民による仲田公園の活用方法の検討・仲田公園と周辺緑地の一体的な活用			
身近な生き物がずっと住み続けられるように多摩川の自然を大切にしていこう	【多摩川を守り楽しむ】 <ul style="list-style-type: none">・生き物が棲みやすい環境の保全と、生態系に配慮した自然を楽しめる場の整備・地域住民との協働による堤防のあり方の検討や、地域住民による清掃やゴミ捨ての禁止規制・立川市、国立市との連携による多摩川の保全	○今ある緑の資源を活用した居場所づくり（小川や水路を活かした水遊び）		
水路脇や多摩川の土手・堤防を遊歩道・サイクリングロードとして整備しよう	【水辺の散歩道】 <ul style="list-style-type: none">・あぜ道や用水路を活用した遊歩道の整備・ウォーキングルートやサイクリングロードの整備			
湧水・用水をしっかりと守り、身近な水辺を取り戻そう	【用水路を活かそう】 <ul style="list-style-type: none">・用水路の開渠化、親水性のある用水路としての整備・地域住民による用水の清掃や自然の大切さを学ぶ機会づくり・「清流祭り」や「多摩川を遊ぶ」イベントの開催等の開催			

暮らし方の目標 2：まちの歴史や文化、風習、歳時記を学び、ふるさと意識を育める暮らし

・地域には、都市的な整った街並みがある一方で、用水のある風景や、古い民家などの歴史を感じる街並みが残されています。

→これらの風景を守り育てるためのルールづくりや対策を進めることによって、風景を形づくるまちの歴史や文化、風習や歳時記などを学び、ふるさと意識を育んでいける暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
日野の歴史的な遺産をまちづくりに取り込み、ふるさと意識を育てよう	【日野宿まちづくり】 <ul style="list-style-type: none">・宿場町をコンセプトとした日野の景観づくり（甲州街道の沿道景観の魅力化と路地を活かしたまちづくり）・歴史散策ルートの設定（日野宿～土方歳三資料館～石伝寺～高幡不動尊～ふるさと博物館）、標識・案内板の設置・歴史・生活文化財の再発見（旧蚕糸試験場日野桑園等の交流の場としての活用、古い民家や史跡の保全、郷土史の編纂等）・祭りや行事の保全と積極的な参加の推進			

暮らし方の目標3：子供からお年寄りまでが交流できる場所のある暮らし

・地域には、市民の森スポーツ公園やふれあいホールなど、人が集まる施設があります。
→そのような場所をふれあいや交流のある場につくりあげることによって、自然に人が集うような場所のある暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
子どもからお年寄りまで自由に過ごせる居場所や、人と人がふれあい、交流できる場をつくっていこう	【多世代のふれあいの場づくり】 ・公民館・図書館・地区センター等の公共施設の再編や福祉サービス施設等の、地域に開かれた活用方法等の検討 ・子供から高齢者まで気軽に立ち寄れるカフェやサロンの充実 ・住宅と調和した福祉施設ゾーンの形成、高齢者施設周辺に健康づくりを行える場の整備 ・市民の森スポーツ公園の施設内容の再検討、 ・学校の余裕教室の活用等、学校を活用した交流拠点づくり 【コミュニティを支える仕組みづくり】 ・ふれあいの場の運営やボランティア等の支援体制の検討 ・町会や自治会などの地域のコミュニティづくり ・高齢者が活動する場や機会の創出	<高齢者の居場所づくり> ○高齢者の集まれる場所、おしゃべりができる場、話合いのできる場、100円でコーヒーが飲めるカフェのような場（特に駅の東口・南側日野本町1～3） ○お年寄りのサロン（甲州街道沿い） <多世代の集う場> ○小学生に限らず乳幼児～お年寄りまで一堂に会せる場所があると良い ○施設に通っていない高齢者や小学生など、多世代が利用できる居場所 ○学校など、子どものいる場所に、高齢者の集まる場を併設 ○児童館を、児童+高齢者の居場所に ○グループホームのコミュニティスペースの開放（子供の集まる場に） ○施設、場の提供・持ち寄りと、ボランティアやスタッフの支援体制づくり ○気軽に立ち寄れるような居場所づくり（多摩平の施設（イオンモール含む）を参考に） ○公共施設をもっと身近な場所にする工夫 <コミュニティ形成・自治会単位の居場所づくり・高齢者の活動の場づくり> ○町会や自治会に代わるコミュニティの形成 ○新規居住者に対する受け皿としてのコミュニティづくり ○年齢や世代を超えたつながり作り ○色々な世代が集えるような居場所が少なくても、集まるきっかけを創出する ○高齢者の方が「ひのっち」などのボランティア活動にもっと関わると良い。		<万願寺>。 ・野球場やサッカー場は、地域のレクリエーション拠点と位置付ける ・高齢者施設の周辺には、健康づくりを行える場の整備を検討する ※万願寺グラウンド（跡地）についての記載については要検討

暮らし方の目標4：誰もが安心して心地よく毎日を過ごし、暮らしを支える施設に気軽に行ける暮らし

・地域の一部には、車の抜け道になっている生活道路など、安心して歩くことのできない道や、風水害への対応が必要な地域があります。
→幹線道路の歩道の整備や緑化など、安心かつ潤いのある道づくりや、地域住民によって災害時の対応等について連携する体制を整えることによって、誰もが快適にまちなかを移動し、安心して毎日を過ごせる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
安心して安全に暮らせる環境をつくろう	【防災まちづくり】 ・水害に対する避難ビルなどの避難施設の指定の検討（公共施設や民間の福祉施設、マンション等） ・地域住民による防災・避難体制の強化 ・災害時の情報提供や安否確認の仕組みの検討	<避難> ○水害時に避難できる高い建物などの確認 ○ニューロシティ等の建物に避難できると良い ○地域包括支援センターなどは場所の開放など地域との連携も視野に入れた災害時の対策の検討 <体制づくり> ○避難場所が少ない状況で可能な住民主体の避難体制づくり		・自然の資源がある一方、風水害への対応が必要な地域であることに留意する。 ・水害に対して、公的な避難施設の他に、民間のビルなども避難場所として想定しておく

		<p>○自治会未加入者に対する防災の普及啓発活動</p> <p>＜情報提供＞</p> <p>○避難できる民間の施設や備蓄の有無などの地域住民への正確な情報提供</p> <p>○高齢者への防災メール登録のサポート</p> <p>＜要支援者対策＞</p> <p>○高齢者でも理解できる安否確認方法の確立</p> <p>○避難所までの移動手段がない高齢者などへの対応方法を事前に決めておく（平日の昼間など、いつでも地域にいる方が役割を担う必要がある。助けられる側の準備も必要）</p> <p>○支援の度合いに応じ、ペアとなる家族を決めて、相互に支援や見守ができるような仕組みづくり</p> <p>○動けない場合に声の発し方（旗や笛含む）の訓練（自助）、異なる事情による様々な助け合い（共助）の取り組み</p> <p>＜その他＞</p> <p>○大雨時の、子供の登下校の見守り活動</p> <p>○個人での水害対策（土地のかさ上げや２階建て以上への建て替え）</p>		
安心して子育てができる環境をつくろう	<p>【子育て環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域子ども家庭支援センターの充実（子育てについて話せる場づくり、子育て情報ネットワークの確保）・既存施設や空き家を活用した、小中学生の放課後の居場所の確保と支援の仕組みづくり・高齢者施設や医療施設の充実・不審者等への防犯対策・浸水の恐れのある区域での、避難の円滑化等に向けた訓練や避難ルートの確保	<p>○小学生が学童終わりに集まれる場所</p> <p>○空き家の活用や既存施設の開放による子供の居場所の確保</p> <p>○子供の居場所を支える人材のマッチング、その制度や仕組みづくり</p>		<p>＜日野本町、日野＞</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者施設や子育て施設が充実した地域づくりを進める。
美しい街並みをしっかりと守り、育てていこう	<p>【街並み保全】</p> <ul style="list-style-type: none">・沿道に花を植える（生ゴミの堆肥化）・万願寺など地名からイメージできる景観を守り育てるルールづくり（地区計画制度やまちづくり条例の活用など）・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールづくりや、整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画やまちづくり条例の検討など）			
歩行者も自転車も車も安心して移動でき、 子どもの遊ぶ声が聞こえるような静かなまちをつくろう	<p>【安全・安心な道づくり】</p> <ul style="list-style-type: none">・緑豊かで安全に歩ける、緊急車両やミニバスが通行できる道路網の整備（区画整理事業・買収方式や農地借用による道路整備の促進、市の用地借用による暫定的な道路拡幅など）・狭隘道路での待避所の増設やハンプの設置・幹線道路の整備、バリアフリー化やベンチの設置、緑化の推進・仲田緑地と多摩川をつなぐシンボルロード等の検討・建替えによる不燃化促進、オープンスペースの確保・中央線や幹線道路沿いの沿いの騒音・振動改善策の検討	<p>○街路樹のある通りにベンチの設置</p> <p>○利用しやすい施設やベンチのある店舗にクールスポット</p>		

暮らし方の目標5：いつでも人にふれあえる、出会いと交流のある暮らし

- ・日野駅は、ふれあいホールなどの公共施設を利用する多くの市民や、日野に訪れる人々を迎える「日野の玄関口」としての役割を担っています。

→日野の玄関口としてふさわしい景観づくりや駅周辺の交通基盤を整え、駅前を楽しく歩いて買い物ができる、出会いと交流のある暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
日野駅を「日野の玄関」として育て、駅周辺をにぎわいとやすらぎのある場にしよう	【駅の改良】 <ul style="list-style-type: none">・駅舎の歴史や特徴を活かした駅改良・東西をつなぐ自由通路のリニューアル整備・市民と鉄道事業者による駅前づくり			
	【駅前の商業地の整備】 <ul style="list-style-type: none">・日野宿本陣や市民の森ふれあいホール、仲田公園など駅周辺を訪れる人のための甲州街道沿道の歩行者空間の整備・小売店の特徴づくり（地元野菜販売等、地場産業を生かした商店づくり）（若い世代にとって魅力ある小売店づくり）・若者による店舗経営や、起業のためのスペース提供等の支援・無線 LAN 環境の充実			
	【利用しやすい商店街づくり】 <ul style="list-style-type: none">・商店街への車の進入禁止・駅と商店街の連携の強化（掃除・花・緑化）			
	【交流拠点づくり】 <ul style="list-style-type: none">・市役所の窓口機能や図書館の分室サービス機能の設置・中央公民館・福祉センターの有効活用・駅周辺の子育て支援や福祉サービス施設や機能の充実			
	【駅前の景観づくり】 <ul style="list-style-type: none">・日野緑地や用水を生かした景観づくり・看板類の規制・多摩川までの緑豊かな散歩道の整備			
駅へのアクセスについてのルールをつくり、誰にとっても利用しやすい駅にしよう	【利用しやすい駅周辺づくり】 <ul style="list-style-type: none">・駅へアクセスする歩行者専用道路や歩道の拡幅整備・車椅子の利用や、歩いて買い物がしやすい歩道の整備・駅前レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討・駅周辺における効率的な駐車場配置・交通システムの検討			

暮らし方の目標6：モノレール駅を生活の拠点とし、緑のある住宅地を楽しめる暮らし

・地域には、モノレール甲州街道駅、万願寺駅があり、地域の生活拠点としての役割を担っています。
→市内外へのアクセスが便利なモノレール駅を生活の拠点駅として、多くの人が集える公園や公共施設が身近にあり、緑や用水など日野の自然を日々感じられる、快適な住宅地を楽しめる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
モノレール駅を地域の人々にとって使いやすい空間にしよう	【魅力ある空間づくり】 <ul style="list-style-type: none">・駅舎内のベンチ・案内板の充実や駐輪場の緑化、タクシー乗り場の整備などによる駅の魅力と利便性の向上・文化施設や魅力ある店舗の誘致、駅周辺でのフリーマーケットの開催や朝市・農産物販売の充実・日野・豊田方面へのバス路線の拡充や、高齢者の多い住宅地周辺への優先的なバス停の設置・モノレール駅を拠点としたサイクリングロードの整備、レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討・モノレール沿線の緑化の促進・小型商店を支える仕組みの検討	○日野駅・市立病院・イオンなど、利用者が多いバス停への快速運転（万願寺） ○ミニバスの路線拡充（ニューロシティの前）		
	【日野の歴史を感じる】 <ul style="list-style-type: none">・甲州街道駅から日野宿までを観光客が歩いていける街道として整備(もてなしの空間づくり、案内サインの設置)	○案内板の作成（モノレールの甲州街道駅周辺）		

		・都市計画道路日 3・4・1 号（甲州街道）、日 3・3・2 号線 線への文化施設や魅力ある店舗の誘致			
	「万願寺駅」周辺を新たに住む人がふるさと思えるまちをつくろう	【歩いて暮らせるまちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川・浅川・万願寺中央公園など、水と緑を回遊できる歩行者空間づくり ・都市農地と共存したや緑豊かな住環境の維持向上 ・地場の農産物の直売所の活用（JA 東京みなみ） ・体験農園や生産→加工→販売が体験できる場づくり 			

暮らし方の目標 7：日野の産業を支えてきた工場と地域の生活が共存できる暮らし

・地域には、日野の産業を支えてきた工場があり、工場と住宅が調和したまちづくりを進める必要があります。

→工場の操業環境を継続し、かつ快適な住環境を維持するため、地区計画を活用したルールづくりなどの検討を進め、工場と地域での生活が共存できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
日野の産業を支えている工場と共存したまちづくりを進めていこう	【住工の共存】 <ul style="list-style-type: none"> ・住工が共存する市街地整備（区画整理事業の推進、地区計画制度等の活用） ・周辺の住環境と調和する工場の施設デザインや工場の緑化 ・工場の施設や緑地の地域への開放 			

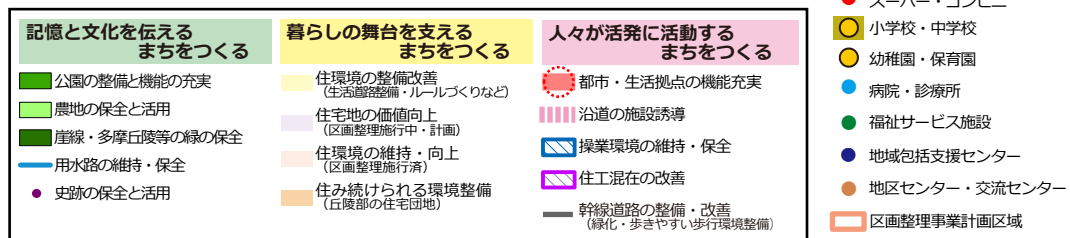
暮らし方の目標 8：子どもがまちの中で、自然や人と交流できる、緑と農地のある暮らし

・地域には、日野・万願寺から川辺堀之内にかけて農地や水路が多く残っていますが、休耕地など利用されなくなった農地も増えています。

→緑豊かで潤いのある住宅地の整備や、休耕地を市民農園などに活用することによって、身近に農地があり、自然や人と交流のできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
農地のあるまちを残そう	【農地のあるまちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地を市民農園として整備 ・市場の再整備 ・農産物の地域内流通の仕組みづくり 			

第一中学校地域 まちづくり方針図

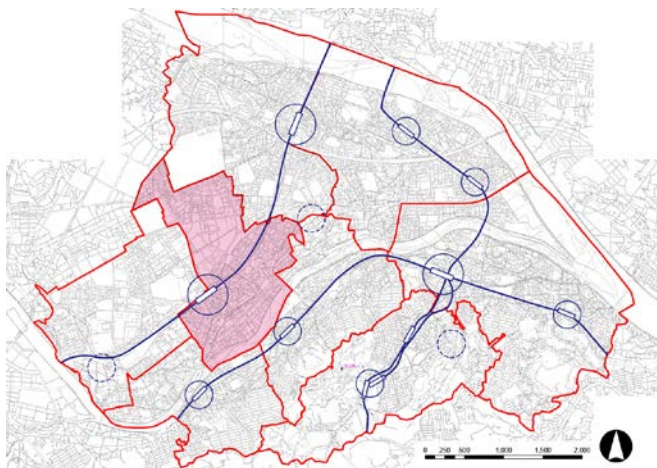


第二中学校地域 緑の丘と水音が聞こえるまち

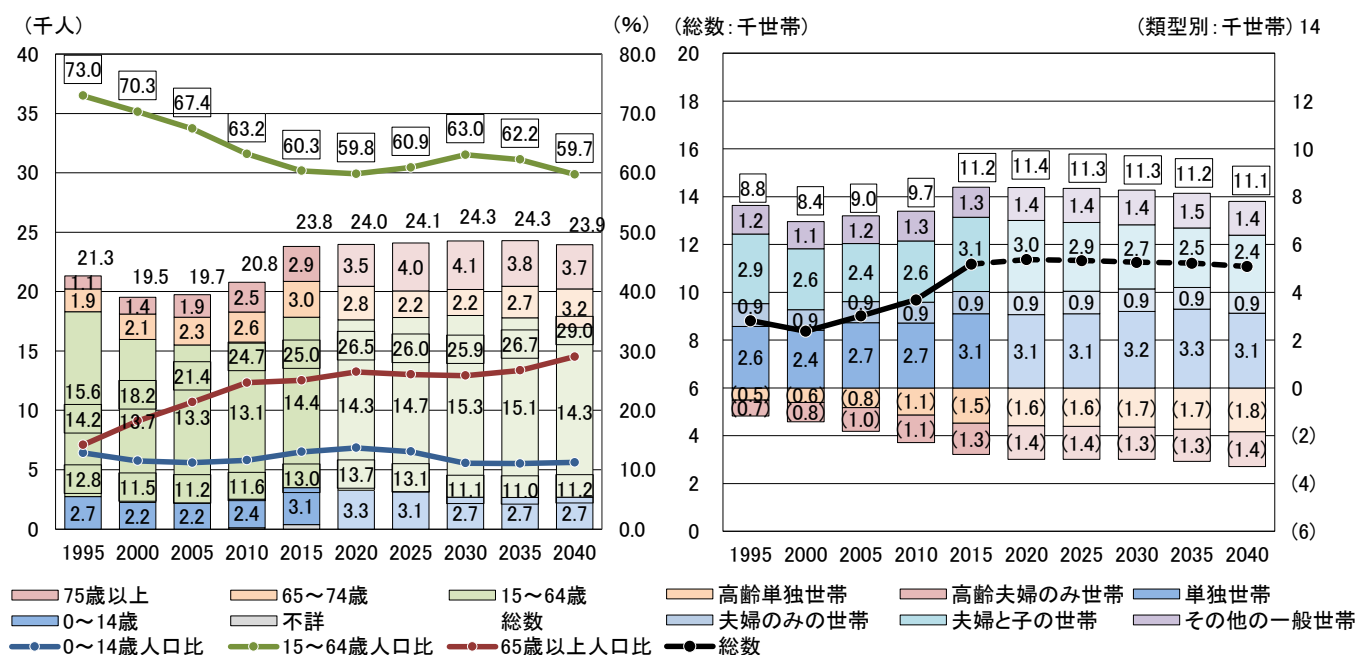
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【第二中学校の区域】

- ・豊田駅の北側には崖線に沿った雑木林や湧水等の多様な自然が残されています。また、地域の南には浅川が流れ広い河川敷がありあす。
- ・豊田駅北側はUR多摩平団地の建替えや多摩平の森重点まちづくり計画により大規模商業施設や交流施設、緑深い公園の整備が進んでいます。
- ・豊田駅南口は駅前広場等の整備が進んでおり、高層の共同住宅が建設されていますが、地域に必要な商店街などが十分ではありません。
- ・多摩平5・6丁目は基盤の整ったエリアで、共同住宅や店舗併用住宅も多く見られデイサービス等の介護予防や居宅介護の施設や在宅療養型診療所が多く立地しています。一方、日野台4・5丁目は狭隘道路と小規模宅地の木造住宅の多いエリアとなっています。
- ・豊田駅南側は都市計画道路日3・3・2号線整備に合わせて土地区画整理事業が施行中で、浅川沿いの緑や農地と共存する街並み形成を進めています。
- ・人口が増加傾向にありますが、高齢化率は比較的高い地域です。



【第二中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



-22-

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

第二中学校地域

暮らし方の目標1：まちなかのさまざまな緑を大切に守り、緑に囲まれていることを実感できる暮らし

・地域内には、崖線の緑地だけではなく、まちのシンボルとなる並木や大木があります。
→身近にある緑と水を、普段の暮らしの中で感じることができるよう、公園や緑地は自然を取り入れた交流の場とするなど、緑に囲まれていることを実感できる暮らしを目指します。

ページ左側の「方針・プロジェクト」に反映した部分を で示しています（以下、同じ）

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
公園のまとまった緑を大切にし、人も鳥も共存できる公園をつくろう	【鳥と共存できる公園づくり】 ・地域住民の協力と工夫による、生き物が棲みやすい公園づくりや、地域住民の世代にあった公園づくり ・地域住民による公園の維持管理と、地域住民や専門家の意見を取り入れた公園のリニューアル ・野鳥や木々の説明板の設置	○清流公園の道路の街灯の増設（暗い）		・黒川清流公園は大規模な整備ではなく、設えの工夫等により明るい公園づくりを進める。 ・地域のイベントに使いやすい公園へのリニューアル（日野台4丁目）
浅川とその周辺の豊かな自然を大切に守りながら、みんなが楽しめる河川敷をつくっていこう	【楽しめる河川敷】 ・浅川堤防への植樹や休憩所の設置 ・浅川や河川敷を活かした親水空間づくり（飛び石など） ・保全するべきものを明確にするワークショップ等の開催	○浅川を活かした市民や市外からの人々の交流の場づくり（浅川沿いのバーベキュー広場やデイクャンプのできる場所、「川の駅」などサイクリングのベースになる施設）		・飛び石のある親水空間づくり
美しい湧水やその源となっている崖線の樹林地を守り、育んでいこう	【緑地の保全】 ・湧水源となる崖線の緑の保全（都市公園法や都市緑地法、条例などの法制度の活用） ・緑地保全のためのトラストの活用 ・屋敷林の所有者に対する協力の要請			
	【湧水の保全】 ・湧水源となる緑地内での大規模団地建設等の規制 ・雨水を地下に浸透させる浸透柵設置の推進 ・湧水を利用した木タルの飼育や湧水の名所のPR ・地域住民による湧水の管理・整備			
まちのシンボルとなる並木や大木を保存しよう	【まちのシンボルづくり】 ・地域住民による大木の維持管理や、残すべき自然の検討 ・緑を活用した四季の名所づくり ・日野緑地の連続性の保全や、緑を結ぶネットワークづくり			

暮らし方の目標2：基盤が整った市街地で潤いのある街並みを育み、快適さを向上させる暮らし

・地域には、緑が豊かで街並みの整っている住宅地がたくさんありますが、その一方で、車の入りづらい市街地もあります。
→様々な企業や大学などと協働して、暮らしの価値や自然環境、安全性も含めて共に市街地のあり方を考えながら、潤いのある街並みを育み快適さを向上させる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
周囲と調和した景観のあり方を考え、美しい街並みと緑豊かな住環境を守り育てよう	【街並みの保全】 ・UR と連携した多摩平の森の並木等の保全 ・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールづくりや、整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など） ・街並みに寄与する住宅コンクールの開催			
歩くことを基本として、生態系にも配慮した区画整理を進め、幹線道路等を中心に緑の歩行者ネットワークを創出しよう	【緑のネットワーク化】 ・歩く・生態系を守るをテーマとした区画整理事業の推進 ・多摩平緑地通りの歩道拡幅整備 ・南平～豊田間に（仮称）豊南橋（人道橋）を設置 ・幹線道路ごとに異なる街路樹の植樹 ・生き物が移動できるトンネルの整備	○健康・コミュニティに配慮した「場」（安全で快適なウォーキングルート+途中で休憩できる居場所）		

暮らし方の目標3：埋もれた文化・歴史を掘り起こしつつ新しい文化・歴史を刻む暮らし

・地域には、豊田ビールなど近代の歴史的資源などが埋もれており、これらを地域の新しい文化・歴史として育てていこうとする動きもあります。

→地域のお祭りやフリーマーケット等を定期的で開催するなど、地域の新しい文化・歴史を知り、日々の生活に刻んでいけるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
文化・歴史・自然環境・行事を発掘し、新たな歴史に育てあげよう	【歴史の発掘】 ・地域の歴史を PR する場づくり ・お祭り・フリーマーケット等の定期的な開催			
地域の宝モノを結ぶ遊歩道・サイクリングコースの整備を進めよう	【宝物のネットワーク化】 ・地域の宝モノ巡りができる遊歩道や眺望点の整備 ・小・中学校の通学路として遊歩道を活用			

暮らし方の目標4：誰もが安心して毎日の生活を送れて、自由に外出を楽しめる暮らし

・地域には市立病院などの医療施設や福祉施設が多く、お年寄りにとっても暮らしやすいまちですが、歩道のバリアフリー化や緊急車両の通行が課題とされる区域もみられます。

→ユニバーサルデザインの視点で安心して歩ける道路整備を進め、福祉サービスを更に充実することによって、誰もが安心して毎日の生活を送れて外出を楽しめる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
すべての人にやさしいまちづくりを進めよう	【すべての人にやさしいまちづくりプロジェクト】 ・安心して歩ける都市計画道路等の整備（歩車道の段差の解消・滑りにくい舗装・電柱等の地中化・弱者優先部分の設置・カラー舗装・電子誘導設備埋め込みなど） ・日野台4丁目をモデル地区とした歩きたくなるまちづくりの推進（生活道路の整備や無電中化） ・福祉施設や市立病院と豊田駅を結ぶ特定道路（バリアフリー新法）整備の推進 ・運動公園や公園の整備内容の見直し ・高齢者・障害者等への聞き取り調査によるニーズの把握と、介護サービスの充実	○豊田駅周辺から南平方面へアクセスする歩行者ルートの整備 ○住環境の改善（日野台4丁目）		<日野台4丁目> ・生活道路の整備等による歩きやすいまちづくりの推進、無電中化、建替え促進、空き家活用を進める。
年をとっても安心して住み続けられるような住環境をつくりあげよう	【安全・安心・快適なまちづくり】 ・周辺住民の生活支援にも考慮した、多摩平のUR団地や高齢者施設のに必要な機能の整備 ・病院に通いやすい道路環境の整った住宅の整備 ・区画整理事業の推進と狹隘道路の拡幅整備 ・小学校の防災コミュニティ活動の充実			<多摩平> ・UR団地や高齢者施設のある良好な住環境があり、周辺住民の生活支援も考慮して必要な機能の整備を進める。
多世代が集まって楽しみながら活動できる場をつくろう	【交流の場づくり】 ・子供から高齢者まで多世代が利用できる場づくり ・地域住民の意見を生かした地区センターのリニューアルや多目的施設の整備 ・学校の余裕教室等や学童施設の活用 ・児童の人口増減を踏まえた施設の増改築の検討(土地区画整理事業が進行する小中学校区域等) ・高齢者の経験を活かした売店・屋台の出店	○高齢者が集まる場所（広い部屋が多くあるカラオケルームなど子供も音を気にせず遊べる） ○駅前のファミレスなど、高齢者などの居場所 ○地域の方の居場所になる豊田4のシルバーサロンのような施設の増設。 ○多世代が利用できる場づくり（サロンや公園、子育て世代がゆっくりできる場所）南口 ○健康・コミュニティに配慮した「場」（健康、趣味、集まる場所）		

安心して快適に過ごせる住環境をつくろう	【公共交通の充実】 <ul style="list-style-type: none"> 駅前と市内各地域を連絡するバス路線の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○分かりやすいバス停、案内板の改善 ○バス路線の拡充等（遠回りのバス、ミニバスの本数が少ない） ○豊田駅周辺から南平方面へアクセスするバス路線の整備 ○中央線と京王線の接続など、浅川南北の連絡がしやすい公共交通の再編 ○南口の区画整理を契機に、駅前と市内各地域を連絡するバス路線の整備 		
安全で安心して過ごせる住環境をつくろう	【安心・安全まちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地における敷地の細分化防止 ・浅川周辺の風水害時の避難対策等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央線南側での民間施設も含めて浸水に対する避難場所の確保 ○特養「豊かな里」等の避難場所としての活用 ○敷地の細分化の防止（多摩平周辺） 		

暮らし方の目標5：快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らし

- ・豊田駅北口のロータリーには一般車の駐停車スペースが確保されていません。また、駅周辺の歩道には放置自転車が多く、歩きにくなっています。
- 駅を利用する多様な立場の人々が利用しやすいと感じられるように、北口ロータリーのあり方の再検討や駅周辺の歩道環境の整備・リニューアルを進めることによって、利便性を備えた豊田駅を利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
誰にとってもやさしい駅周辺づくりをすすめよう	【バリアフリー化】 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅とバリアフリー化（市立病院等へのアクセス道路を優先）の推進（滑りにくい路面への改良、電線の地中化、弱者優先スペースの設置やカラーリング） ・駅舎内自由通路のバリアフリー化の推進と駅舎の改良 ・駅以外の南北連絡通路の整備 ・心のバリアフリーの推進・NPO の育成 	■ 駅の改良 <ul style="list-style-type: none"> ○北口・南口の移動環境の改善（エレベーターの乗継移動は大変） ○駐輪場の配置の改善（南側から北口の駐輪場に停める場合等は大変） 		
	【使いやすい北口駅前づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・北口ロータリーの再整備の検討（駅舎の屋上を活用した駅前広場の拡大、立体ロータリーによる歩車分離等） ・商店街の歩行者環境の再整備 ・銀行の駐車場の休日一般開放 ・パーキングメーターの撤去または移設 ・違法駐車を取り締まり強化（ボランティア等の活用） 			
	【使いやすい南口駅前づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・日3・4・19号線、日3・4・15号線、駅広の整備促進 ・区画整理事業と併せた商業、業務施設の建設誘導、ゆとりある共同住宅の建設誘導 ・豊田駅南口駅前通りの交通計画検討（駐車場計画、タクシー待機台数の制限、駅を起点とするバスルートの整備等） 			
	【安心して歩ける駅前づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・違法駐車・駐輪の取り締まりの強化（商店会による取り締まりチームの結成、市民ボランティア制度の確立） ・徒歩・自転車利用の推進、通行車両の速度制限 ・駐輪場計画の検討（自転車の乗り入れ規制や駐輪場の整備、レンタサイクル・サイクルシェアの導入） ・駐輪場利用促進のための商店会による共通券の発行 			

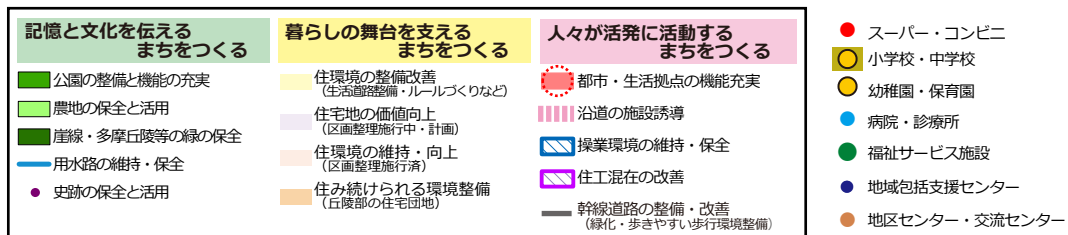
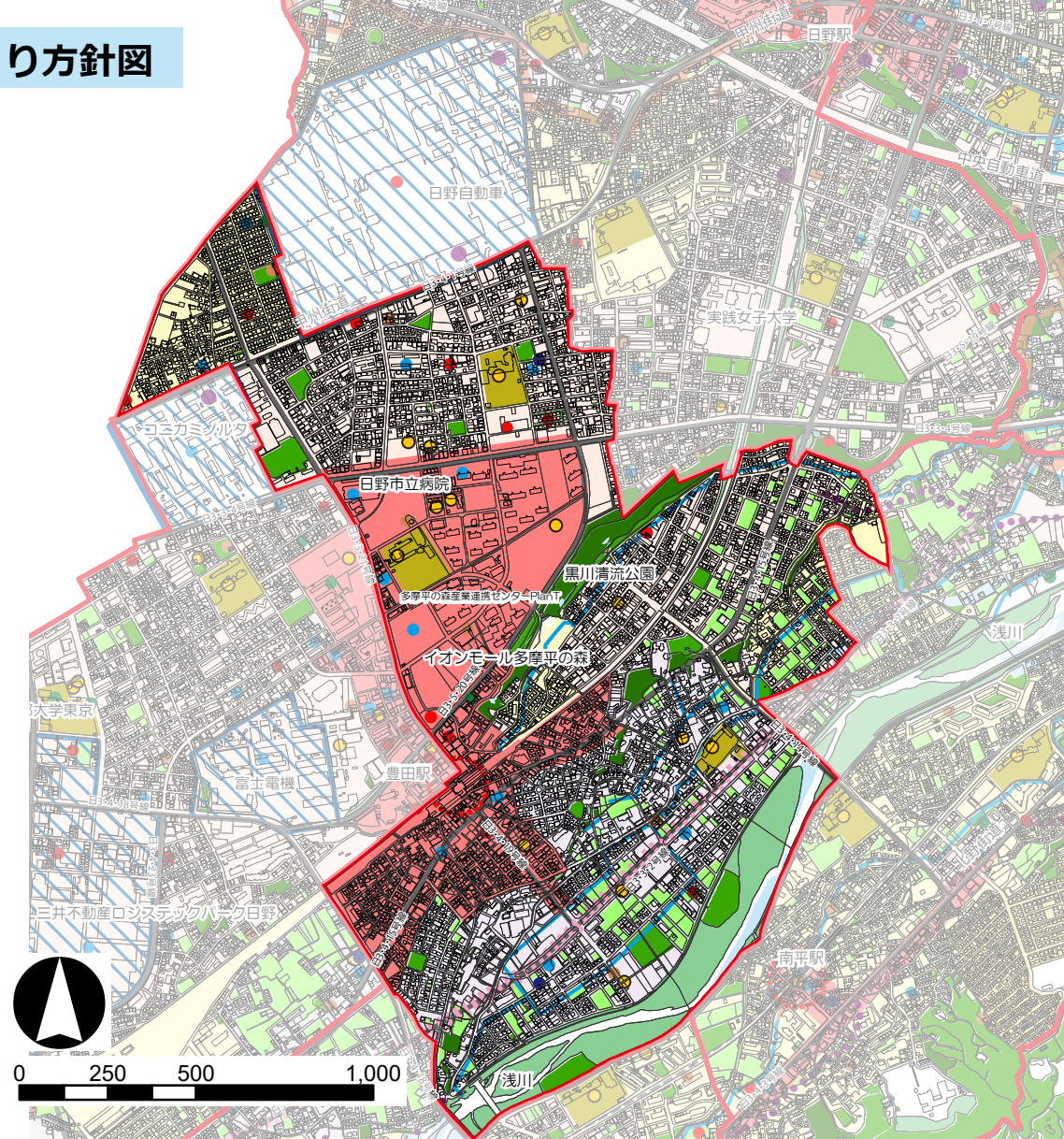
暮らし方の目標6：利便性を備えた、魅力ある豊田駅周辺を自慢できる暮らし

・駅北口にはイオンモールをはじめとする商業施設や、多摩平の森の医療・福祉ゾーンが充実し、現在は駅南口で区画整理事業を活用したまちづくりが進行しています。

→今後は更に、公共公益施設や交流拠点の整備を進めることにより、便利で快適な環境が整った駅周辺を利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
人が集まる利便性の良い駅前づくりをすすめよう	【活動拠点づくりプロジェクト】 ・駅周辺の高度利用による生活サービス施設や職住近接の就業の場、公共公益施設等の整備（市民活動や交流の拠点となるコミュニティセンター・会議室、憩いの場、コワーキングスペース、市役所窓口、交番、民間活力による介護施設、宿泊施設等）	○50～60人で集まってパーティができるような場所・ホテル（UR団地の建替えて余った場所など）高齢者が集まれる場所としても望ましい。		
	【もてなしの空間づくり】 ・緑に囲まれたもてなしの空間づくり ・街灯のデザインの検討や看板類の規制			
誰もが利用しやすい商店街周辺の整備をすすめ、地元商店街の活性化につなげよう	【北口商店街の魅力づくり】 ・工場等への通勤者に配慮した駅周辺整備（通勤路の歩道拡幅、飲食系の充実・アミューズメント系店舗の誘致など） ・ロータリーの歩行者天国化とイベントスペース等の整備 ・既存の商店街の再整備			
	【親しみのある南口商店街づくり】 ・核となる店舗の誘致（若者・家族が集まる複合的な商業）と、共存するための小売店の魅力づくり ・シンボルロード整備（電線類の地中化・バリアフリー化・ショッピングモール化など）の検討 ・日3・3・2号線を買い物道路として整備 ・商店の連携強化や、商店事業者と住民との協力体制づくり	○大きめのスーパー（南口）		

第二中学校地域 まちづくり方針図

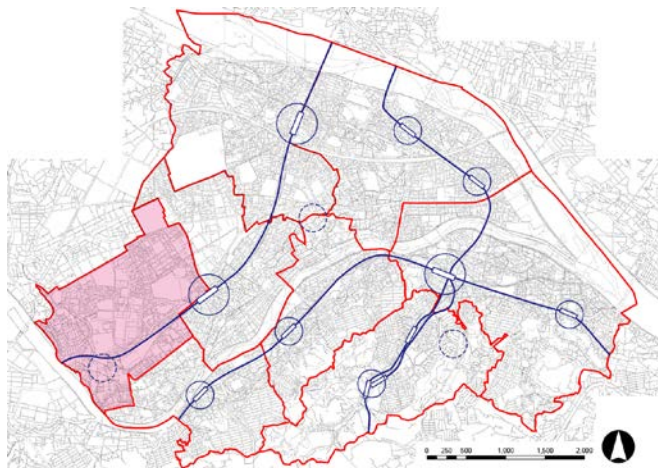


第四中学校地域 緑の丘に産学民が共に歩むまち

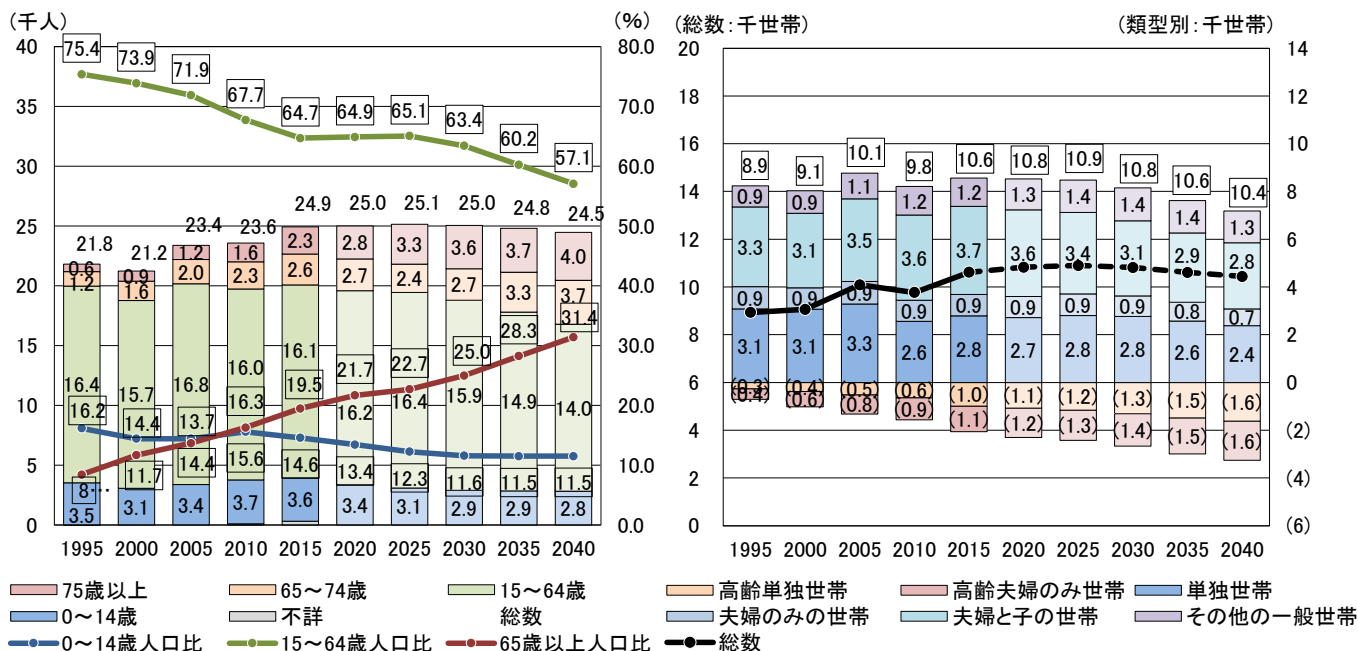
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【第四中学校の区域】

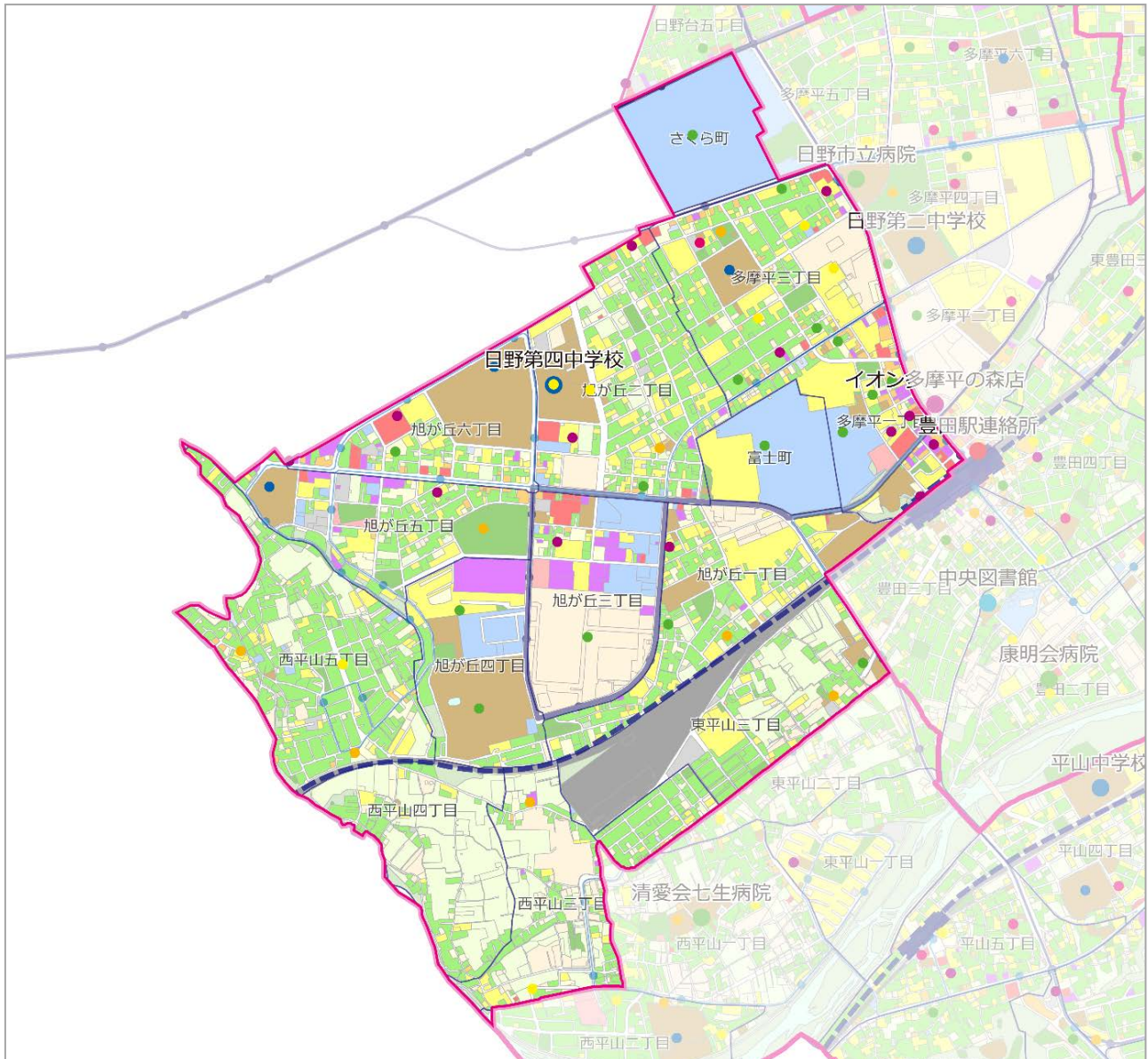
- ・地域内には公園や幹線道路沿いの街路樹、企業や住宅地内の緑など、多様な形の緑が生活の中に溶け込んでいます。
- ・豊田駅北口は駅前に集まる企業・地域住民など多くに人が使う駅であるため、誰もがアクセスしやすい都市機能の集積や交通の結節点としての役割が求められます。
- ・旭ヶ丘などには富士電機、コニカミノルタ等の大規模工場や物流系施設が立地しており、その間の住宅地に小規模工場の立地する住工混在市街地もみられます。
- ・西平山3, 4丁目、東平山3丁目では、区画整理事業を施行中ですが、農地が多く残る地域です。駅からやや離れており公共交通が利用しづらく、商業施設や子育て施設が少ない地域です。
- ・企業用地が共同住宅に建て変わるなど人口は増加傾向にありますが、古くからの戸建住宅もあり、高齢化率も高い地域です。













































【第四中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



【第四中学校地域の現況図】



凡例：交通		路線バスルート		ミニバスルート		凡例：施設利用					
鉄道		75本(片道)/日以上		20本(片道)/日以上		行政施設		教育施設		医療施設	
		30本(片道)/日以上		20本(片道)/日未満			文化・スポーツ施設		子育て施設		商業施設
		30本(片道)/日未満					コミュニティ施設		福祉施設		
		路線バスバス停		ミニバス停							

凡例：土地利用種別									
	官公庁施設		供給処理施設		独立住宅		屋外利用地・仮設建物		田
	教育文化施設		事務所建築物		集合住宅		その他		畑
	厚生医療施設		専用商業施設		専用工場		道路		樹園地
	宿泊・遊興施設		住商併用建物		住居併用工場		公園・運動場等		水面・河川・水路
					倉庫運輸関係施設		鉄道・港湾等		原野
					農林漁業施設		未利用地等		森林

2. 暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

第四中学校地域

暮らし方の目標 1：多様な形でまちの中の緑に関わりながら豊かな自然を育み楽しむ暮らし

・地域内には公園や幹線道路沿いの街路樹、企業や住宅地内の緑など、多様な形の緑が生活の中に溶け込んでいます。
→今ある緑を大切にし守り育て、居心地の良い空間を適切に配置することによって、豊かな自然を身近に楽しむことのできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
休憩の施設を備えた居心地の良い小さな空間を適切に配置しよう	【憩いの場づくり】 ・公有地や公共施設の憩いの場としての有効活用 ・公園のトイレ整備、ダストボックス撤去跡へのベンチの設置 ・まちづくり条例を活用した大規模開発の際のオープンスペース確保の義務づけなど憩いの場の提供・			
崖線の緑や湧水、地域に棲む生き物を保全しよう	【自然の保全】 ・緑地と湧水や生き物の保全（都市公園法や都市緑地法、都条例などの法制等の活用） ・地域住民・企業・行政の協力による保全のルールづくりと役割分担の検討 ・市民が剪定や草刈りの技術を学ぶ場、自然体験学習や教育の機会づくり ・みんなでまちをきれいにする条例の推進			

暮らし方の目標 2：埋もれた文化・歴史を掘り起こしつつ新しい文化・歴史を刻む暮らし

・地域には、歴史的な遺産はありませんが、童謡たき火で知られる異聖歌が過ぎたまちの歴史などを再発見し、育てていくことはできます。
→地域住民のつながりを深めるお祭りや、埋もれた歴史を辿り再発見するイベントの開催などによって、地域の新しい文化・歴史を刻んでいけるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
文化・歴史・自然環境・行事を発掘し、新たな歴史に育てあげよう	【歴史の発掘】 ・地域の歴史的・文化的資料を活かしたまちづくりの推進 ・地域の歴史を PR する場づくり ・お祭り・フリーマーケット等の定期的な開催			

暮らし方の目標 3：誰もが安心して不便を感じることはない暮らし

・地域には、道路などの基盤整備が不十分なために、災害時における緊急車両の通行が困難な区域や、公共交通による移動が不便な区域があります。
→狭隘道路の拡幅整備や区画整理事業を進め、誰もが歩きやすく、安心して不便を感じることはない暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
年をとっても安心して住み続けられるような住環境をつくりあげよう	【安全・安心・快適なまちづくり】 ・住み続けられるまちや、歩く・生態系を守るをテーマとした西平山土地区画整理事業の推進 ・狭隘道路の拡幅整備や、老朽化した住宅や産業施設等の建替えの促進 ・地域住民による避難体制の検討や、小学校の防災コミュニティ活動の充実	○避難のタイミング等も含めた災害時避難の方法等の住民への周知 ○普段使い慣れた場所（居場所）を避難場所に（商業施設や道の駅に避難できるとよいのでは） ○地区センターの建替えに合わせた、避難所機能の付加 ○通学路等を中心としたブロック塀の点検、除去	○認知症を見守る地域活動	＜西平山＞ ・老朽建物の建替えを促進し防災性と居住環境の向上を図る。（特に西平山 5 丁目）

生活利便施設等の整備を図り、コミュニティ機能を備えた、多様な世代が集える空間を充実させよう	<p>【生活利便施設の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路 日 3・3・2 号沿道の生活利便施設等の誘導 ・地区センターへの交流・介護・福祉サービス機能の導入検討 ・操車場上部の有効活用の検討 <p>【多世代の交流の場の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区センター等の公共施設や学校の余裕教室、空き家を活用した交流の場の創出 ・既存の集会室等を活用した、市民が無目的でも立ち寄れるる場、カフェ等の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ○区画整理とバイパスの整備により沿道に商業施設など利便施設を誘致 ○利便施設と誰でも利用できる居場所の確保 ○今後増加する空き家を地域の方が利用できる居場所に（旭ヶ丘） ○駅前や市民がよく使う公園などの公共施設を中心とした誰もが利用しやすい居場所の創出。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西平山の方は高齢者にとって不便。コンビニや医療施設を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の集会室等を利活用・リノベーションし、市民が無目的でも立ち寄れて気軽に利用できる場、カフェ等の創出
すべての人にやさしいまちづくりを進めよう	<p>【すべての人にやさしいまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の整備、バリアフリー化や緑化の推進 ・歩きやすい歩行空間の整備（富士電機、首都大学東京、小学校周辺）、ベンチなど休憩できる場所の確保 		<ul style="list-style-type: none"> ○安心して通行できる道 ○小学校周辺の狭い歩道や事故の多い交差点の改善 ○ベンチなど少し休憩できる場所 ○幼稚園・学校の桜の木や街路樹（老木・巨木）の管理 ○地域全体を時速 30km 以下ゾーンに 	
	<p>【公共交通の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前と市内各地域を連絡するバス路線の拡充 ・交通不便区域におけるオンデマンド交通等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○京王線沿線にも出やすくなるようなルート設定 ○お年寄りが使いやすい乗り降りの工夫がされた車両 	<ul style="list-style-type: none"> ○呼んだら来てくれるオンデマンド交通 	

暮らし方の目標 4：快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らし

- ・豊田駅北口のロータリーには一般車の駐停車スペースが確保されていません。また、駅周辺の歩道には放置自転車が 多く、歩きにくくなっています。
- 駅を利用する多様な立場の人々が利用しやすいと感じられるように、北口ロータリーのあり方の再検討や駅周辺の歩道環境の整備・リニューアルを進めることによって、利便性を備えた豊田駅を利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
誰にとってもやさしい駅周辺づくりをすすめよう	<p>【バリアフリー化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅とバリアフリー化（市立病院等へのアクセス道路を優先）の推進（滑りにくい路面への改良、電線の地中化、弱者優先スペースの設置やカラーリング） ・駅舎内自由通路のバリアフリー化の推進と駅舎の改良 ・駅以外の南北連絡通路の整備 ・心のバリアフリーの推進・NPO の育成 			
	<p>【使いやすい北口駅前づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口ロータリーの再整備の検討（駅舎の屋上を活用した駅前広場の拡大、立体ロータリーによる歩車分離等） ・商店街の歩行者環境の再整備 ・銀行の駐車場の休日一般開放 ・パーキングメーターの撤去または移設 ・違法駐車を取り締まり強化（ボランティア等の活用） 			
	<p>【安心して歩ける駅前づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違法駐車・駐輪の取り締まりの強化（商店会による取り締まりチームの結成、市民ボランティア制度の確立） ・徒歩・自転車利用の推進、通行車両の速度制限 ・駐輪場計画の検討（自転車の乗り入れ規制や駐輪場の整備、レンタサイクル・サイクルシェアの導入） ・駐輪場利用促進のための商店会による共通券の発行 			

暮らし方の目標 5：利便性を備えた、魅力ある豊田駅周辺を自慢できる暮らし

- ・駅北口にはイオンモールをはじめとする商業施設や、多摩平の森の医療・福祉ゾーンが充実しています。

→ 今後は更に、公共公益施設や交流拠点の整備を進めることにより、便利で快適な環境が整った駅周辺を利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
人が集まる利便性の良い駅前づくりをすすめよう	【活動拠点づくりプロジェクト】 ・駅周辺の高度利用による生活サービス施設や職住近接の就業 の場、公共公益施設等の整備（市民活動や交流の拠点となる コミュニティセンター・会議室、憩いの場、コワーキングス ペース、市役所窓口、交番、民間活力による介護施設、 宿泊 施設等 ）			・ 宿泊施設（ビジネスホテル等）の誘致
	【もてなしの空間づくり】 ・緑に囲まれたもてなしの空間づくり ・街灯のデザインの検討や看板類の規制			
誰もが利用しやすい商店街周辺の整備をすすめ、地元 商店街の活性化につなげよう	【北口商店街の魅力づくり】 ・工場等への通勤者に配慮した駅周辺整備（通勤路の歩道拡幅、 飲食系の充実・アミューズメント系店舗の誘致など） ・ロータリーの歩行者天国化とイベントスペース等の整備 ・既存の商店街の再整備、 移動販売の促進	○ 移動販売の誘致、充実		

暮らし方の目標6：地域の様々な主体が協働してつくる快適で活力のある暮らし

・地域には、企業や工場、研究所や大学などが数多く立地し、緑が豊かで街並みの整っている住宅地がありますが、一部の地域には、工業や事業所と住宅地とが混在している地区があります。
→ 住民と企業や大学など多様な主体が協働してまちづくりを進めていく環境を整え、潤いのある街並みを共に育み、快適で活力のある暮らしを目指します。

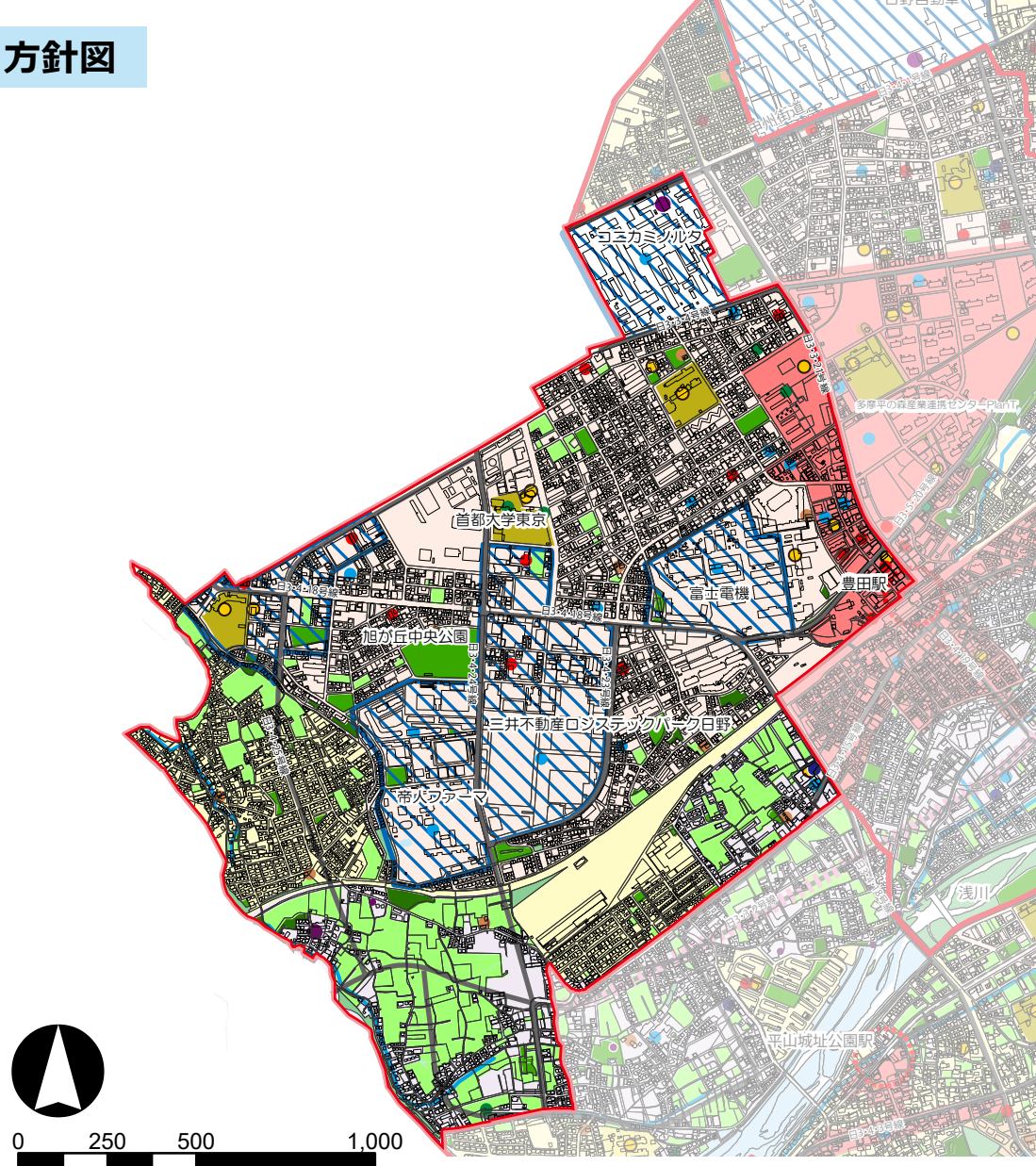
■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
工場や幹線道路沿いの緑を育て、街路樹が創り出す緑の 帯を大切に守ろう	【緑のネットワーク化】 ・歩道の拡幅と植樹帯の整備 ・沿道住宅の緑化の推進、首都大学東京の緑の保全、工場の堀 のセットバックと緑化 ・地域住民やボランティアによる草取りや、緑を大切にする意 識の向上			
住民・企業・大学など多様な主体がともに認めあい、共 生できるまちづくりを進めていこう	【パートナーシップによるまちづくり】 ・企業、商業者、大学、地域住民の協働によるまちづくりを進 める機会づくり、まちづくり協議会の創設 ・産官学民によるリビングラボの実施（ 交通、農業、医療など 住民の暮らしに関わるテーマで ） ・産学共同の研究センターやサテライトオフィスの誘致 ・ 小中学校の空き教室の活用方法の検討（高齢者支援機能、企 業と大学の協働の研究室など）		○企業・学校による清掃活動 ○首都大などの学生が地域の活動に参加する仕 掛け	<富士町、旭ヶ丘> ・企業にとって快適に通勤・勤務できる環境を創 出する。 ・ 交通、農業、医療などをテーマにした産官学の 連携を促進する。 ・増加が想定される小中学校の空き教室の活用 方法を検討する。（高齢者支援機能、企業と大 学の協働の研究室など）

暮らし方の目標7：農地のある風景や農業の維持に関わり、地元でとれる新鮮な野菜を食べられる暮らし

・西平山地区には、多くの緑と農地があり、田野の原風景といえる農地のある景観が残されています。
→ 貴重な農地を保全するとともに、市民農園などの整備によって住民が農業に関わり、その恵みを受けて豊かになれる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	「地域ケア会議」での主な意見	「地域別意見交換会」での主な意見	「コア会議」での主な意見
市街地にある貴重な農地を残しながら、農業に親しもう	【農地のあるまち】 ・田園住居地域など、緑地保全のための新たな制度の活用によ る農地や生産緑地の保全、 農地とのバランスに配慮した住宅 地開発の誘導 ・市民農園の整備や、コンビニ等での農作物の販売の推進 ・生産者の顔が見える販売契約の促進 ・都市農地の役割や在り方について考える場づくり			・農地の保全計画の検討（農業公園を計画してお く等） ・ 農地とのバランスに配慮した住宅地開発の誘 導

第四中学校地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる	暮らしの舞台を支える まちをつくる	人々が活発に活動する まちをつくる	
公園の整備と機能の充実	住環境の整備改善 (生活圏整備、ルールづくりなど)	都市・生活拠点の機能充実	● スーパー・コンビニ
農地の保全と活用	住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画)	沿道の施設誘導	● 小学校・中学校
崖線・多摩丘陵等の緑の保全	住環境の維持・向上 (区画整理施行済)	操業環境の維持・保全	● 幼稚園・保育園
用水路の維持・保全	住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地)	住工混在の改善	● 病院・診療所
史跡の保全と活用		幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備)	● 福祉サービス施設
			● 地域包括支援センター
			● 地区センター・交流センター